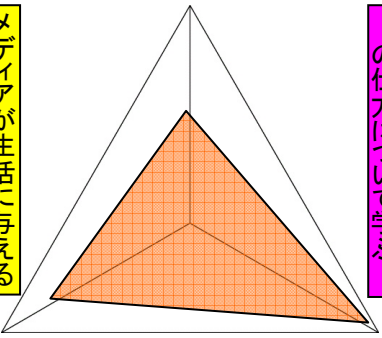


実践名	ケータイのルールを考えよう(小学校5・6年, 1単位時間)
授業のねらい	携帯電話の特性を知り、利用の際のルールを家族との相談で考えることができる。
この実践のメディアのキーワード	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="background-color: cyan; padding: 5px;">メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; margin-right: 10px;">メディアが生活に与える影響について学ぶ</div>  <div style="background-color: magenta; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; margin-left: 10px;">メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方について学ぶ</div> </div> </div> <div style="width: 60%;"> <p>実践の意図</p> <p>○想定する子どもの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の利用については、その所持や管理は家庭に依存している。そのため一人一人の経験値や使用上のルールにはばらつきがみられる。また、親から目の届きにくいこともあり小さなトラブルも大きな問題に発展しかねない。 そこで同じ問題について皆で話し合い、お互いの考えを知ることで、トラブルを起こさず活用していくことができるようにしたいと考えた。 <p>○パッケージの目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話について、子どもたちに興味本位でない客観的な視点を与える。ワークシートを用いて携帯電話の特徴について、正しい知識を与える。 友だちの家のルールを知ることにより、一人一人が家族という集団に属して生活しているという意識を持たせる。家族の一員としての自覚を持ち、自分の取るべき行動を考える。 </div> </div>

受 = 情報の受け手としての力を育てるために

送 = 情報の送り手としての力を育てるために

1. ケータイ利用の注意点を考えよう (10分)

○. **携帯電話の使い方について、気をつけることを考えましょう。**

- ・詳細が空欄になったワークシート (ws1) に、知っていることを書きこむ。
- ・ワークシートをもとに、携帯電話を利用する際に気をつけることについて発表する。

Ws1:
たとえば気になるこんな事: 空欄

2. ケータイ利用で気をつける点を知ろう (10分)

○. **携帯電話を使うときに、知っておきたいことにはこんな事があります。**
(詳細が記入されているワークシートを配布する)

- 2枚のワークシートを見比べて、自分の知識に片寄りがあったことに気づく。

コンピュータ, プロジェクタ,
スクリーン,
ws2:
たとえば気になるこんな事: 知識

3. 自分のルールを作ろう(25分)

○. **気をつけたいことがたくさんある中で、どんなことを取り上げてルールにしているのでしょう。**

- ・すでに所有している児童から、保護者と交わしているルールを発表してもらう。
- ・たくさんある注意点の中から、どんなことをルールにするかは、その家の考え方による。
- ・考え方は家によって違いがある。また、どの家でも共通に大事だと思うこともある。

○. **何を大切にするかはその人の考え方です。**

- 家族の人の考え方も大切です。では、自分が大事だと思うことを選び、自分のルールを作りましょう。**

家の人から普段言われている事をふり返る。
家族の一員として、何を大事にすればよいか、考える。
自分個人の考えと、家族の人の考えを頭に入れながら、ワークシートに自分のルールを書き出す。

Ws3: 私のルール